

グループの発表の内容 （第2回絆研修①：平成30年1月21日）

◇グループワーク①

*参加者について

本人、妻、長男、長女

主治医、看護師、ケアマネ、MSW、福祉用具、訪看NS、担当リハスタッフ、歯科医師、薬剤師、訪問リハスタッフ、管理栄養士、デイサービススタッフ、嘱託医（地域 Dr.）、包括職員、民生委員

- ・デイケア、デイサービスのリハスタッフと病院スタッフとの連携も大事。
- ・薬剤師、栄養士は指導が入るようなら相談して参加。
- ・在宅での生活にある程度見通しがある場合、メンバーの選定を行っても良いと思う。
- ・どの状況で開催するかによってメンバーは変わってくる。

*配慮について

- ・本人の思いにどこまで添えるか。
- ・本人だけでなく家族の意向についても配慮しながら、同じ方向へ向くよう皆で考えて行く。
- ・在宅生活となることを長男へ理解してもらう。
- ・本人や家族にカンファレンスについて理解をしてもらう。各専門職が何をやる人か、どのような支援ができるか。
- ・本人は気難しい面もあるため、デイサービス等は配慮が必要。
- ・本人が安心してもらえるような声掛け、雰囲気作りも必要。
- ・本人と家族の意見を尊重しつつ、介護する人、される人でバランスをとり、お互い納得できるように。
- ・本人の趣味を継続できるようリハビリを計画する。
- ・家族の不安を明確化する。
- ・妻の介護負担軽減、精神面のケア。
- ・MSWとケアマネは、事前に確認事項を検討する。
- ・自宅で生活する上での情報だけでなく、他の情報も聞き入れる必要があるのではないか。
- ・自宅内で安全に生活できるのか、本人の残存機能（できる事できない事）の見極め。
- ・機能面での具体的なゴール（自宅に帰るまで、帰った後）を決め、カンファレンスの目的をはっきりさせる。
- ・カンファレンスの最初に、意思決定のできるPTに機能予後を話してもらい、そのイメージを頭においてもらう。
- ・服薬管理、サービスの調整。
- ・段差がある場合は住宅改修が必要。
- ・柔軟性をもたせ、追加改修できるようにする。住宅改修を過度にしないこと。
- ・退院時の身体状況から、自宅内の移動手段やベッド搬入の検討。
- ・2、3か月様子を見る。
- ・（退院前カンファへ参加経験があるが）家族や本人に意見を聞く事が少なく感じた。専門職だけの会議になっていないかなと感じた。
- ・（病院看護師より）病院で退院前カンファを行う事は多い。病院から在宅スタッフへの指導ではなく、

一緒に考えて行ければという気持ちでいつも臨んでいる。

◇グループワーク②

本人：事前に自宅へ帰ることで退院後のイメージができるため、カンファレンスに臨み易いと思う。

妻：どこで何を聞いていいのかわからなかった。

夫がどのような動きをしているのか分からなかった。

医師：本人の意思が一番と思うが、こちらの思いを伝えるのも難しい。

何をどう説明すればよいか分からなかった。

病棟NS：本人の1日の生活を考えなければいけなかった。

本人の事を考えながら話をする事ができた。

MSW：本人の意向は聞く事が出来たが、妻の不安をもう少し聞き出せればよかった。

MSWの役割について理解できているつもりだったが、理解できていなかった。

薬剤師：誰にどのようなアドバイスをすれば良いか分からなかった。

知識が乏しく、薬に対する不安や要望等をもう少し本人に聞ければ良かった。

ケアマネ：(病院スタッフから)聞きたい事をまとめておくことの重要性を感じた。

情報は書面でひろうのではなく、耳でひろってそれを情報発信する。情報量が大変だと感じた。

予め書面を出してあげるのが一番スムーズに行くのではないか。

セラピスト：自分がいかに重要な情報源であるか気付いた。在宅と言うと機能、能力が重要であり、この

職種への参加の重要性を感じた。

- ・司会者の進め方も重要。
- ・メンバーがどのような役割を担っているのか、家族へ自己紹介(説明)を初めにしたほうがよい。
- ・別の職種を体験することで、その職種の役割が理解できた。
- ・情報共有、情報発信の大切さ。受け取り側の体制、カンファレンス前の情報整備。
- ・MSWはケアマネとの橋渡し役であるが、実際は難しかった。事前の情報共有が必要。
- ・カンファレンスに参加するスタッフ(代表者)は、参加しない他のスタッフからも話を聞き、十分な情報を伝えて行けるような体制が必要。
- ・情報共有だけで時間が終わってしまった。家族の不安等を聞く余裕がなかった。
- ・病院側の情報をもとに退院後の生活を考えていくので、情報提供の重要性を感じた。
- ・自分がいかに重要な情報源であるか気付いた。セラピストの参加は重要だと感じた。
- ・誰にどのような意見を求めればよいか分からなかった。
- ・専門用語は分かるように伝える。